街と人とをつなぐ、地域情報紙

平成24年10月1日号

むれコミュニティ協議会

事務局　高松市牟礼町大町１４６３－２
大町コミュニティセンター
TEL:087-870-1306　FAX：087-870-1307

http://wwwc.pikara.ne.jp/murecomm/index.html

みんなの里山づくり事業

平成23年度から開始された「高松市ゆめづくり推進事業」の採択をうけて、むれコミュニティ協議会が提案した「みんなの里山づくり事業」が収穫を迎えています。この事業の目的は目に余る耕作放棄地の解消。協働によって課題を解決するために実行委員会が活動しています。

日本の農作物自給率は昭和60年頃の73％から現在では40％にまで低下しています。経済政策の問題もありますが、少子高齢化や後継者の不足などによる「耕作放棄地」は毎年範囲を拡大し、牟礼地区においても大きな問題となっているのです。

「みんなの里山づくり」は、この課題解決を目指して活動する事業です。おおきなイベントや活性化の場所づくりではなく、耕作放棄地を活用して、農業への理解や農作業を通じた健康づくり、自然環境の保全を協働で行うことにあります。

当初、10名程度から始まった実行委員会は現在60名を越える規模にまでなり、最終年度である来年度にはブルーベリー100kg、ジャガイモ、さつまいも、玉ねぎなども収穫を予定しています。みなさんも一度現場を見学してみて下さい。メンバーも常時募集しています。（4ページを参照）

やぎ農園△現在、７頭のやぎが飼育されています。子やぎが３頭産まれたこともあり、時々子どもたちが餌をやる光景が見られます。

レクレーション農園△三反ほどの広さの耕作放棄地を畑に開墾した農園です。今年、ジャガイモ３００kgや玉ねぎ２５０kgを収穫し、関係者に試験販売しました。現在は、さつまいもの栽培を行っています。

ブルーベリー園△昨年秋に約三反ほどの耕作放棄地を開墾し、土壌改良を行った後、ブルーベリー１００本を栽培しています。現在は、小さな実をつけており、来年の夏には本格的な収穫が見込めそうです

ビオトープゾーン△本年秋の完成に向けて計画が進行中です。地元の有志が造った「平六炭Ⅱ」周辺で水辺の環境を整える事業です。遊歩道や景観整備が中心で、自然環境保全の核といえる活動になる予定です。

「元気になろうＤＡＹ！inむれ」は牟礼町時代の「町民運動会」から「むれスポーツフェスタ」になり、時代を経て運動会形式から「いつでも、どこでも、だれでも」を合い言葉に、自由に参加・体験が出来るスポーツイベントとして、２年前に誕生しました。おもしろチャレンジやニュースポーツ体験など楽しいコーナーを実行委員会が企画運営しています。

今年の内容は、「おもしろチャレンジコーナー」７種類・「トランポリンコーナー」・「ニュースポーツコーナー」・「フィットネスコーナー」、屋外イベントとして「親子ネイチャーウォーク」（親子で自然を散策した後、御山公園で飯ごう炊飯を行なう）と、全身が喜ぶウォーキング「ノルディックウォーキング」（指導者を招いて正しい歩き方及びポールの使い方を習得後、実際に歩く）を行います。野外イベントは、どちらも事前予約が必要です。

お問合せは、むれスポーツクラブ℡８８７―５０８１までお願いします。子どもから大人まで家族みなさんでさわやかな秋の１日を過ごしましょう。

元気になろうDAY！ inむれ2012 同日開催！ 牟礼地区文化祭

牟礼地区文化祭は牟礼町時代「牟礼町公民館まつり」と「牟礼町文化協会ステージまつり」を統合して牟礼公民館で開催したのがスタートでした。

牟礼公民館大ホールのような立派な施設を利用できるのはステージ部門参加者にとって良い環境でした。

今は高松市と合併して「むれコミュニティ協議会」ができ、その組織の元で開催する運びとなっています。また今年から新たにむれスポーツクラブ主管の「元気になろうＤＡＹ！inむれ」と同時開催することが決まりました。こうして小さかった三つのそれぞれの花火は二つが一つになり、更に一つが加わって大きな大きな花火となって牟礼町地域挙げての一大イベントに成長することができました。

関係者の皆様のご協力によるもので、心から感謝申し上げたいと存じます。「元気になろうＤＡＹ！inむれ」との同時開催で地域を共に盛り上げますよ～　ぜひお出かけ下さい。なお駐車場は高松北中学校・高校のご協力をいただきました。

☆「元気になろうＤＡＹ！inむれ」
10月21日　9時30分より　牟礼総合体育館

☆「牟礼地区文化祭」
10月20日、21日9時30分より　牟礼公民館

元白羽神社境外末社
羽間神社の三連鳥居

秋はお祭りシーズン。牟礼町内でも今年は十月六日・七日が白羽神社と播羅八幡神社の秋季例大祭。秋の豊作を祝い、ちょうさ（太鼓台）や獅子が奉納されます。

今回は、白羽神社の元境外末社、羽間神社（大町　羽間地区）の鳥居を紹介します。

羽間神社の社殿の正面にある鳥居がこちらの写真。ちょっと変わっています。なんと、７５㎝間隔で三基の鳥居が並んでいます。

明治三九年に国の施策により「神社合祀令」が出されました。その一環として大正二年に羽間・中代・丹僧の三地区の神社が合祀されています。

第一（南側）は丹僧地区の鳥居。大正二年(一九一三年)八月建立。丹僧の誕僧神社と山神社を合祀した際に建立。

第二（真中）は中代地区の鳥居。安永二年（一七七三年）九月建立。稲荷神社・山邊神社からの移設。

第三（北側）は羽間地区の鳥居。嘉永二年（一八四九年）三月建立。こちらは旧来の羽間神社のもの。同時期に羽間地区の熊野神社も合祀。

このように、三地区の神社の合祀のなごりが三連鳥居なのです。

そして、毎年白羽神社大祭の一週間後（今年は十四日）に羽間神社のお祭り（小祭り）があります。三地区の氏子が集い、中代と羽間の獅子が奉納されます。皆様もお参りしてみてくださいね。

新コミュニティセンター準備着々と！

昨年末に建設工事を開始した、牟礼支所・コミュニティセンター等建設工事は、現在、建家部分の建設を進めています。支所部分は今年末に建家が完成。事務所移転の後、来年春頃に仮オープンの予定です。

コミュニティセンター部分は、支所と同時期に完成予定ですが、高松市からの指定管理をうける時期が４月１日の予定ですのでオープンも同日としています。

新コミュニティセンターは、高松市牟礼公民館の代わりに市民の活動の場としてオープンしますが、その日から業務に支障がないよう、平成２４年度一般コミュニティ助成事業を活用して備品等の購入を開始しました。

この事業は(財)自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることを目的に、コミュニティ活動に必要な備品の整備に対して助成するものです。

むれコミュニティ協議会では、この助成事業を活用して「軽印刷機及び装備品」「紙折機」「ファクシミリー」「掃除機」「パンフレットスタンド」「デジタルカメラ・ズームレンズ」「ビデオカメラ」「DVDレコーダー」「冷蔵庫」を購入し、その費用として、１９０万円の助成を受けました。

あなたに夢を。宝くじ　街に元気を。
クーちゃん

イベント・行事等（H24・10月～H24・12月）

☆白羽神社秋季例祭
- 開催日：平成24年10月7日(日)
- 場　所：白羽神社

☆幡羅八幡神社秋季例祭
- 開催日：平成24年10月7日(日)
- 場　所：幡羅八幡神社

☆ふるさとまつり
- 開催日：平成24年11月18日(日)
- 場　所：牟礼北・牟礼南小学校

☆こ～りゃんせ
- 開催日：平成24年12月16日(日)
- 場　所：石匠の里公園

平成25年度牟礼地区コミュニティセンター 職員・管理員募集

職種／センター長・１名　主任・１名　管理員・３名
雇用期間／平成25年4月1日～平成26年3月31日
（更新の場合あり）
募集期間／平成24年10月10日～平成24年10月20日
※募集要項などは募集期間内にかぎり大町コミュニティセンターにあります。
ホームページからもダウンロードできます。

ほっとつうしん編集局員 募　集！！

むれコミュニティ協議会では、本誌の編集局員（ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｽﾀｯﾌ）を募集しております。

むれのホットな情報を集めて頂き編集会議に参加していただきます。出版は年4回です。

地域づくりへの関心が高く、熱意と意欲に溢れた方の参加をお願いします。

連絡先：大町コミュニティセンター（担当　平田）

みんなの里山づくり ボランティアメンバー募集

「みんなの里山づくり」では、これからの事業に向けて皆様の参画をお願いします。

問合せ先：大町コミュニティセンター（担当　平田）
TEL087-870-1306　FAX087-870-1307

東日本大震災復興支援チャリティー ２０１２おいでまい祭りのお礼

8月11日（土）に開催しました2012おいでまい祭りは皆様方のご協力、ご支援によりまして，盛大のうちに終了することができました。

ご協賛と会場で行いました東日本大震災復興支援チャリティー募金にご協力をいただきました皆様に厚くお礼申し上げます。

これからも、夏の一大ふるさとイベントとして、おいでまい祭りを末永く開催していきたいと思いますので、今後ともご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

おいでまい祭り実行委員会

ほっと通信 ご近所の自然

秋の野山を飾るキクの仲間には多くの種類があります。白い花・黄色い花・葉の形も様々です。図鑑片手に観察してみましょう。《写真はリュウノウギクです。》

編集後記

ほっとつうしんは、旧牟礼町時代から地域情報誌として発刊しており、編集はボランティア編集員の5名とむれコミュニティ協議会事務局が担当しています。

ホットな情報や地域内のレアな情報を編集員がかき集めて編集し、年4回皆様のご家庭に配布しています。

記事は多方面の方々にお願いしておりますので内容について多くのご意見があると思います。いただいたご意見はむれコミュニティ協議会のホームページに掲載しておりますので是非ご一読のほど……

ほっとつうしん編集局

おわびと訂正

7月1日号の「六萬寺と源平合戦（後篇―六万寺の歩み）」の記事のタイトルに誤りがありました。正しくは，「後篇―源平合戦とのかかわり」です。おわびして訂正します。